

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 << 技術・家庭科(家庭分野) >>

※詳細については、資料Ⅱ(家庭分野-4～家庭分野-8)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、調理や製作などの目的や手順を考え、実習や実践を通して、身に付ける技能が『できたかな?』に掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、実習の振り返りや話し合いを通して生活を見直す学習活動が【考えてみよう】に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生活の課題を見つけ、解決する学習活動が【サステナブルクッキングにチャレンジ!】に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、世代や立場が異なる人とかかわり方について考える学習活動が【地域での協働を目指して】に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「食育」について、健康の保持増進に必要な運動量の確保や、食事による適切な栄養の摂取について取り上げた学習活動が【私たちの食生活】に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、繊維に係る職業に携わる人たちが『プロに聞く!』に掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p><< 教科・種目共通の観点 >></p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、一連の学習過程を通して、課題を解決する学習活動の流れが『家庭分野の学習の進め方』に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、他教科での学習と関連する箇所に他教科のマークが、道徳科との関連として『支えらえて身につける生活習慣』に掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、話し合いの視点やワークシートを活用した学習活動が【誰がどの部屋を使うか考えよう】に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の生活の文化継承に関わる内容の伝統文化マークが『日本の伝統的な住まい方』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、栄養に配慮した朝食を作る学習活動が【朝食作りに挑戦しよう】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校家庭科の学習内容と関連する箇所に小学校のマークが『食事の役割』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、集めて整理した複数の情報から、目的に合った品物の選び方を考える学習活動が【何を考えて決めますか】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、個に応じて段階的に手順を示す写真が『さけのムニエル』に、イラストが『できることから始めようチェックリスト例』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【消費者としての自覚】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p><< 各教科・種目別の観点 >> (それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 実践的・体験的な活動を通じた知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成について、調理方法などの課題解決に向けた学習活動が【生活に生かそう】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習について、学習の導入で生活を見直す学習活動が【中学校家庭分野の学習を見てみよう】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程について、次の学習活動につながる内容が『発展 世界のさまざまな住まい』に掲載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 全6編『未来につながる家庭分野』『私たちの食生活』『私たちの衣生活』『私たちの住生活』『私たちの消費生活と環境』『私たちの成長と家族・地域』と選択『生活の課題と実践』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 ≪技術・家庭科(家庭分野)≫

※詳細については、資料Ⅱ(家庭分野-4～家庭分野-8)を参照。

発行者の略称	教図	書名	新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、調理や製作などの目的や手順を考え、実習や実践を通して、身に付ける技能が『ふり返る』に掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、実習の振り返りや話し合いを通して生活を見直す学習活動が【考えてみよう】に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生活の課題を見つけ、解決する学習活動が【幼児のおやつを工夫しよう!】に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、世代や立場が異なる人とのかかわり方について考える学習活動が【家庭生活と地域のかかわりを知ろう】に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「食育」について、健康の保持増進に必要な運動量の確保や、食事による適切な栄養の摂取について取り上げた学習活動が【健康によい食習慣について考えよう】に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、保育に係る職業に携わる人たちが『センパイに聞こう!』に掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、一連の学習過程を通して、課題を解決する学習活動の流れが『自分の課題をもって学習に取り組もう!』に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、他教科での学習と関連する箇所にも他教科のマークが、理科との関連として『栄養素の種類と働きを知ろう』に掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、話し合いの視点やワークシートを活用した学習活動が【住まいの空間の使い方を考えてみよう】に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の生活の文化継承に関わる内容の伝統文化マークが『和食;日本人の伝統的な食文化』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、食物アレルギーに配慮して間食を作る学習活動が【間食をつくろう】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校家庭科の学習内容と関連する箇所に関連のマークが『調理の基礎を知ろう』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、集めて整理した複数の情報から、目的に合った品物の選び方を考える学習活動が【買い物の意思決定のプロセス】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、個に応じて段階的に手順を示す写真が『製作の手順』に、イラストが『消費者トラブルの解決への流れ』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【ミシンの使い方】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 実践的・体験的な活動を通じた知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成について、衣服の点検などの課題解決に向けた学習活動が【考えてみよう】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習について、学習の導入で生活を見直す学習活動が【自分の成長と人とのつながり】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程について、次の学習活動につながる内容が『発展 子どものすこやかな成長のために』に掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 全3編『家族・家庭生活』『衣食住の生活』『消費生活・環境』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『ユニバーサルデザインの考え方にもとづいて編集されています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 ≪技術・家庭科(家庭分野)≫

※詳細については、資料Ⅱ(家庭分野-4～家庭分野-8)を参照。

発行者の略称	開隆堂	書名	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支えあう生活へ
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、調理や製作などの目的や手順を考え、実習や実践を通して、身に付ける技能が『学習のまとめ』に掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、実習の振り返りや話し合いを通して生活を見直す学習活動が【調べてみよう】に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生活の課題を見つけ、解決する学習活動が【家族・家庭生活とつながる実践例】に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、世代や立場が異なる人とのかかわり方について考える学習活動が【かかわり合う地域と家庭】に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「食育」について、健康の保持増進に必要な運動量の確保や、食事による適切な栄養の摂取について取り上げた学習活動が【毎日の食習慣と健康の基本】に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、里親の経験のある方たちが『先輩からのエール』に掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、一連の学習過程を通して、課題を解決する学習活動の流れが『家庭分野の学び方と身につけたい力』に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、他教科での学習と関連する箇所到他教科のマークが、保健体育との関連として『中学生の発達と必要な栄養』に掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、話し合いの視点やワークシートを活用した学習活動が【家族の変化と心地よい空間の使い方】などに設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の生活の文化継承に関わる内容の伝統文化マークが『和服の文化にふれてみよう』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、弁当の献立を考え弁当箱につめる学習活動が【お弁当をつくろう】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校家庭科の学習内容と関連する箇所に小学校のマークが『栄養素の働き』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、集めて整理した複数の情報から、目的に合った品物の選び方を考える学習活動が【商品情報から見えること】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、個に応じて段階的に手順を示す写真が『調理前に知っておきたいポイント』に、イラストが『消費者の権利と責任を考えよう』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【調理の前に知っておきたいポイント】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 実践的・体験的な活動を通じた知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成について、幼児との触れ合い方などの課題解決に向けた学習活動が【考えてみよう】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習について、学習の導入で生活を見直す学習活動が【家庭分野の学びと身につけたい力】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程について、次の学習活動につながる内容が『発展 進化する素材』に掲載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 全5編『家族・家庭生活』『食生活』『衣生活』『住生活』『消費生活・環境』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『カラーユニバーサルの視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒が見やすくなるように配慮しています。』と表記されている。</p>

【資料Ⅱ】

教科種目名《技術・家庭科(家庭分野)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、調理や製作などの目的や手順を考え、実習や実践を通して、身に付ける技能が『目標』や『できたかな?』に掲載されている。
教図	「知識・技能」の習得について、調理や製作などの目的や手順を考え、実習や実践を通して、身に付ける技能が『めあて』や『ふり返り』に掲載されている。
開隆堂	「知識・技能」の習得について、調理や製作などの目的や手順を考え、実習や実践を通して、身に付ける技能が『学習の目標』や『学習のまとめ』に掲載されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、実習の振り返りや話し合いを通して生活を見直す学習活動が【考えてみよう】【話し合ってみよう】【調べてみよう】に設定されている。
教図	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、実習の振り返りや話し合いを通して生活を見直す学習活動が【考えてみよう】【話し合ってみよう】【見極めてみよう】に設定されている。
開隆堂	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、実習の振り返りや話し合いを通して生活を見直す学習活動が【調べてみよう】【考えてみよう】【話し合ってみよう】に設定されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生活の課題を見つけ、解決する学習活動が【サステナブルクッキングにチャレンジ!】や【衣服のリメイク】などに設定されている。
教図	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生活の課題を見つけ、解決する学習活動が【幼児のおやつを工夫しよう!】や【住みやすいまち・安全なまちってどんなまち?】などに設定されている。
開隆堂	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生活の課題を見つけ、解決する学習活動が【家族・家庭生活とつながる実践例】や【食生活とつながる実践例】などに設定されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「共生」について、世代や立場が異なる人とのかかわり方について考える学習活動が【地域での協働を目指して】や【幼児との関わり方の工夫】などに設定されている。
教図	[思いやる力]の「共生」について、世代や立場が異なる人とのかかわり方について考える学習活動が【家庭生活と地域のかかわりを知ろう】や【家族関係をよりよくする方法を考えよう】などに設定されている。
開隆堂	[思いやる力]の「共生」について、世代や立場が異なる人とのかかわり方について考える学習活動が【かかわり合う地域と家庭】や【誰もが尊重される家庭・地域の生活】などに設定されている。
⑤ [たくましく生きる力]自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力、消費者教育 など)	
東書	[たくましく生きる力]の「食育」について、健康の保持増進に必要な運動量の確保や、食事による適切な栄養の摂取について取り上げた学習活動が【私たちの食生活】や【中学生に必要な栄養】などに設定されている。
教図	[たくましく生きる力]の「食育」について、健康の保持増進に必要な運動量の確保や、食事による適切な栄養の摂取について取り上げた学習活動が【健康によい食習慣について考えよう】や【中学生に必要な栄養の特徴を知ろう】などに設定されている。
開隆堂	[たくましく生きる力]の「食育」について、健康の保持増進に必要な運動量の確保や、食事による適切な栄養の摂取について取り上げた学習活動が【毎日の食習慣と健康の基本】や【中学生の発達と必要な栄養】などに設定されている。

⑥ [社会とかかわる力]社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動、環境教育、シチズンシップ教育 など)	
東書	『社会とかかわる力』の「働くことの大切さ」について、繊維に係る職業に携わる人たちが『プロに聞く!』に、消費・環境に係る仕事に携わる人たちが『学んだことを社会に生かす』に掲載されている。
教図	『社会とかかわる力』の「働くことの大切さ」について、保育に係る職業に携わる人たちが『センパイに聞こう!』に、地域のボランティアに携わる人たちが『メッセージ』に掲載されている。
開隆堂	『社会とかかわる力』の「働くことの大切さ」について、里親の経験のある方たちが『先輩からのエール』に、障がい者が働ける環境が『地域の取り組み』に掲載されている。

3 内容と構成

- 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、一連の学習過程を通して、課題を解決する学習活動の流れが『家庭分野の学習の進め方』に掲載されている。また、自分の生活を振り返る学習活動が【自分の生活チェック】に設定されている。
教図	主体的・対話的で深い学びについて、一連の学習過程を通して、課題を解決する学習活動の流れが『自分の課題をもって学習に取り組もう!』に掲載されている。また、自分の生活を振り返る学習活動が【自立度チェック】に設定されている。
開隆堂	主体的・対話的で深い学びについて、一連の学習過程を通して、課題を解決する学習活動の流れが『家庭分野の学び方と身につけたい力』に掲載されている。また、自立と共生について考える学習活動が【自立と共生で成り立っている生活】に設定されている。

- ⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮

(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、他教科での学習と関連する箇所に他教科のマークが、道徳科との関連として『支えられて身につける生活習慣』などに、社会科との関連として『世界のさまざまな住まい』や『中学生の消費生活』などに掲載されている。
教図	カリキュラム・マネジメントについて、他教科での学習と関連する箇所に他教科のマークが、理科との関連として『栄養素の種類と働きを知ろう』などに、社会との関連として『災害に備えた安全な住まい方を考えよう』や『私たちは消費者』などに掲載されている。
開隆堂	カリキュラム・マネジメントについて、他教科での学習と関連する箇所に他教科のマークが、保健体育との関連として『中学生の発達と必要な栄養』などに、社会との関連として『日本の気候風土と住まい』や『消費生活のしくみ』などに掲載されている。

- 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、話し合いの視点やワークシートを活用した学習活動が【誰がどの部屋を使うか考えよう】や【調理方法による違いを比べてみよう】などに設定されている。
教図	言語能力の育成について、話し合いの視点やワークシートを活用した学習活動が【住まいの空間の使い方を考えてみよう】や【「食習慣すぐろく」をつくってみよう!】などに設定されている。
開隆堂	言語能力の育成について、話し合いの視点やワークシートを活用した学習活動が【家族の変化と心地よい空間の使い方】や【他者を理解すること】などに設定されている。

- ⑩ 伝統や文化に関する教育の充実

東書	伝統や文化に関する教育の充実について、日本の生活の文化継承に関わる内容の伝統文化マークが『地域の食材』『日本の伝統的な住まい方』『和服の文化』などに掲載されている。
教図	伝統や文化に関する教育の充実について、日本の生活の文化継承に関わる内容の伝統文化マークが『和食の調理をしてみよう』『和服』『住まい方の変化』などに掲載されている。
開隆堂	伝統や文化に関する教育の充実について、日本の生活の文化継承に関わる内容の伝統文化マークが『和服の文化にふれてみよう』『受け継がれてきた食文化』『日本の気候風土と住まい』などに掲載されている。

⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、栄養に配慮した朝食を作る学習活動が【朝食作りに挑戦しよう】に設定されている。また、体験実習の例が『さまざまな触れ合い体験に挑戦!』などに掲載されている。
教図	体験活動の充実について、食物アレルギーに配慮して間食を作る学習活動が【間食をつくろう】に設定されている。また、体験活動の実習例が『高齢者の一般的な身体の特徴を理解するために、疑似体験をしてみよう』などに掲載されている。
開隆堂	体験活動の充実について、弁当の献立を考え弁当箱につめる学習活動が【お弁当をつくろう】に設定されている。また、体験活動の実習例が『保育所や幼稚園、認定こども園に行ってみよう』などに掲載されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、小学校家庭科の学習内容と関連する箇所に小学校のマークが『食事の役割』や『手縫いの基礎』などに、高等学校家庭科との系統性を踏まえて、消費生活と環境の内容や、家族・幼児や高齢者などに関連する学習内容が教科書の後半に掲載されている。
教図	学校段階間の円滑な接続について、小学校家庭科の学習内容と関連する箇所に関連のマークが『調理の基礎を知ろう』や『補修の基礎』などに、高等学校家庭科との系統性を踏まえた内容が『自分の成長と人とのつながり』に掲載されている。
開隆堂	学校段階間の円滑な接続について、小学校家庭科の学習内容と関連する箇所に小学校のマークが『栄養素の働き』や『衣服の手入れ』などに、高等学校家庭科との系統性を踏まえた内容が『これまでとこれからの自分』に掲載されている。
⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、集めて整理した複数の情報から、目的に合った品物の選び方を考える学習活動が【何を考えて決めますか】や【食品の選択と購入】などに設定されている。また、購入時の情報収集の例が『生鮮食品の表示』や『既製品の表示』などに掲載されている。
教図	情報活用能力の育成について、集めて整理した複数の情報から、目的に合った品物の選び方を考える学習活動が【食品の選択と購入について考えよう】や【買い物の意思決定のプロセス】などに設定されている。また、購入時の情報収集の例が『暮らしとつながるマーク・ラベル』や『洗剤の表示例』などに掲載されている。
開隆堂	情報活用能力の育成について、集めて整理した複数の情報から、目的に合った品物の選び方を考える学習活動が【商品情報から見えること】や【生鮮食品の選択と保存】や【既製品の選び方】などに設定されている。また、購入時の情報収集の例が『いろいろなマーク』や『加工食品の表示』などに掲載されている。
⑭ 生徒の学習上の困難さへの対応	
東書	生徒の学習上の困難さへの対応について、個に応じて段階的に手順を示す写真が『さけのムニエル』などに、イラストが『できることから始めようチェックリスト例』などに、安全への配慮を徹底するマークが『ミシン縫い』や『家庭内事故の現状』などに掲載されている。
教図	生徒の学習上の困難さへの対応について、個に応じて段階的に手順を示す写真が『製作の手順』などに、イラストが『消費者トラブルの解決への流れ』などに、安全への配慮を徹底するマークが『自然への備え』や『包丁やまな板の扱い方』などに掲載されている。
開隆堂	生徒の学習上の困難さへの対応について、個に応じて段階的に手順を示す写真が『調理前に知っておきたいポイント』などに、イラストが『消費者の権利と責任を考えよう!』などに、安全への配慮を徹底するマークが『針の安全』や『加熱するときの注意』などに掲載されている。
⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【消費者としての自覚】や【実物大の食品】や【浴衣を着てみよう】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
教図	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【ミシンの使い方】や【私たちの消費生活】や【配膳・マナー・後かたづけ】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
開隆堂	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【調理の前に知っておきたいポイント】や【洗濯の準備】や【現金以外の支払い方法】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 実践的・体験的な活動を通して、基礎的な知識及び技能の習得やそれらを生かした思考力・判断力・表現力等の育成を図るための工夫や配慮がなされているか。	
東書	実践的・体験的な活動を通じた知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成について、調理方法などの課題解決に向けた学習活動が【生活に生かそう】に、家庭や学校、地域の中での防災などの課題解決に向けた学習活動が【学習を深めよう】に設定されている。
教図	実践的・体験的な活動を通じた知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成について、衣服の点検などの課題解決に向けた学習活動が【考えてみよう】に、消費生活・環境などの課題解決に向けた学習活動が【自分の言葉でまとめよう】に設定されている。
開隆堂	実践的・体験的な活動を通じた知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成について、環境に配慮した住まい方などの課題解決に向けた学習活動が【学習のまとめ】に、幼児との触れ合い方などの課題解決に向けた学習活動が【考えてみよう】に設定されている。

⑪「技術の見方・考え方」や「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習となるよう、内容構成に工夫や配慮がなされているか。	
東書	「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習について、学習の導入で生活を見直す学習活動が【中学校家庭分野の学習をしてみよう】に設定されている。また、日常生活の中にある学びの視点が『家庭分野の見方・考え方』に掲載されている。
教図	「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習について、学習の導入で生活を見直す学習活動が【自分の成長と人とのつながり】に設定されている。また、日常生活の中にある学びの視点が『「つなぐ、つながる」家庭分野』に掲載されている。
開隆堂	「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習について、学習の導入で生活を見直す学習活動が【家庭分野の学びと身につけたい力】に設定されている。また、日常生活の中にある学びの視点が『広がる家族・家庭と地域・環境の学び』に掲載されている。
⑫ 既存の技術の理解を図る学習過程や、生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程が取り上げられているか。	
東書	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程について、次の学習活動につながる内容が『発展 世界のさまざまな住まい』や『発展 赤ちゃん』などに掲載されている。
教図	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程について、次の学習活動につながる内容が『発展 子どものすこやかな成長のために』や『助け合いの中で生きる』などに掲載されている。
開隆堂	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程について、次の学習活動につながる内容が『発展 進化する素材』や『中学生の取り組み』などに掲載されている。

4 分量・装丁・表記等

⑬ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	全6編『未来につながる家庭分野』『私たちの食生活』『私たちの衣生活』『私たちの住生活』『私たちの消費生活と環境』『私たちの成長と家族・地域』と選択『生活の課題と実践』で構成されている。
教図	全3編『家族・家庭生活』『衣食住の生活』『消費生活・環境』で構成されている。
開隆堂	全5編『家族・家庭生活』『食生活』『衣生活』『住生活』『消費生活・環境』で構成されている。
⑭ 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はA B判が採用されている。
教図	判型はA B判が採用されている。
開隆堂	判型はA B判が採用されている。
⑮ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。』と表記されている。
教図	『ユニバーサルデザインの考え方にもついて編集されています。』と表記されている。
開隆堂	『カラーユニバーサルの視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒が見やすくなるように配慮しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載

東書	99ページ 【地域の食材】 ⑦三浦だいこん 101ページ 【いりどり】 (コメント) 三浦だいこん 103ページ 【郷土料理】 神奈川県 けんちん汁 107ページ 【省資源への取り組みの例 九都県市】 神奈川県 横浜市 川崎市 相模原市 213ページ 【循環型社会を推進するための消費者の行動】 リユース食器 横浜市など 265ページ 【地域の人と支え合う活動(図1)】 防災訓練(横浜市)
教図	1ページ 浴衣の着付け体験(横浜市) 140ページ 【地域の食材】 三浦だいこん 141ページ 【「かながわブランド」マーク】 143ページ 【全国各地のおもな郷土料理】 神奈川県●しらす井 146ページ 【地域の食材を用いた和食の調理をしてみよう】 地元の郷土料理(手打ちうどん)をつくる調理実習(相模原市小山中学校) 245ページ 【調べてみよう】 横浜市消費生活総合センター
開隆堂	80ページ 【地域の取組】 川崎市 158ページ 【伝統野菜の例】 三浦だいこん 161ページ 【日本各地の郷土料理】 神奈川県 けんちん汁 164ページ 【参考】 けんちん汁の由来 171ページ 【先輩からのエール】 横浜のシウマイ弁当 258ページ 【地域の取り組み】 はじまっている地域の活動に取り組む新しい形(横浜市)

② 一冊ごとの重量(g)

	冊数	重量(g)
東書	1	566
教図	1	626
開隆堂	1	556